

寄り添う屋根



■CONCEPT

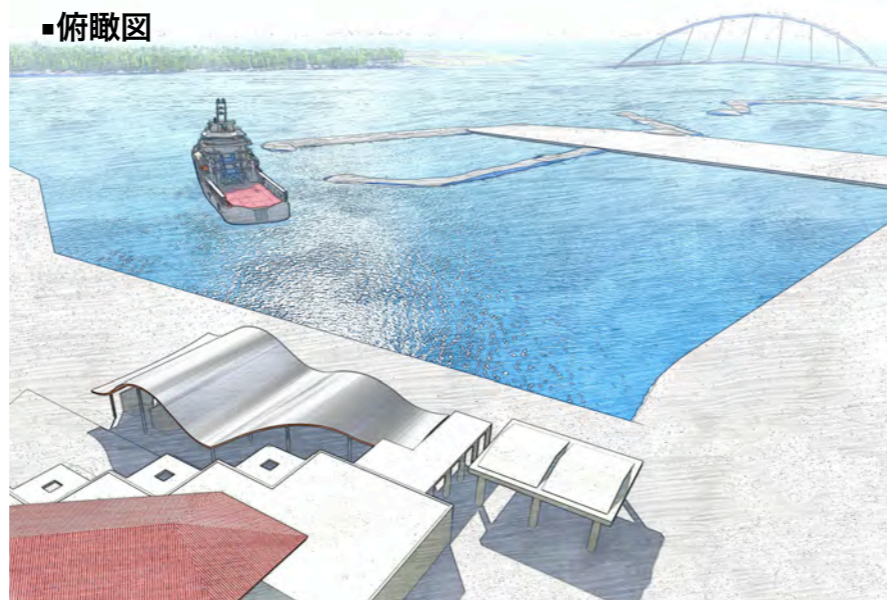
曲面の大屋根は、目の前の海や空の風景を切り取り屋根下空間へ取り込む。

周辺環境とのつながりや、機能性を確保しながら、発着場独特の気分の高揚感、非日常感をやさしく包み込むような形状とした。

居場所によって天井高さが変化し、それと同時に切り取られる風景も変化していく。大屋根は見る位置によって様々な表情もみせ、周辺の風景と一体となった屋根下空間となる。

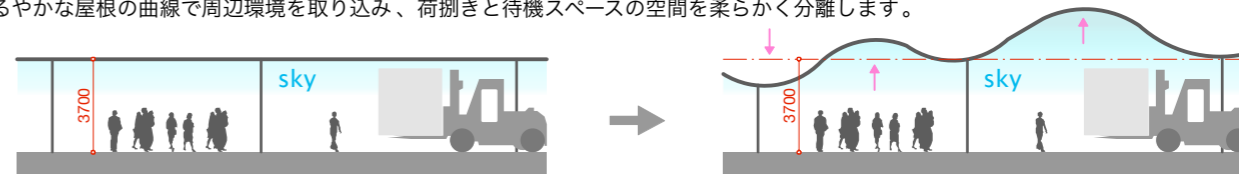
海に寄り添い、山に寄り添い、人に寄り添う。
そんな港の大屋根空間です。

■俯瞰図

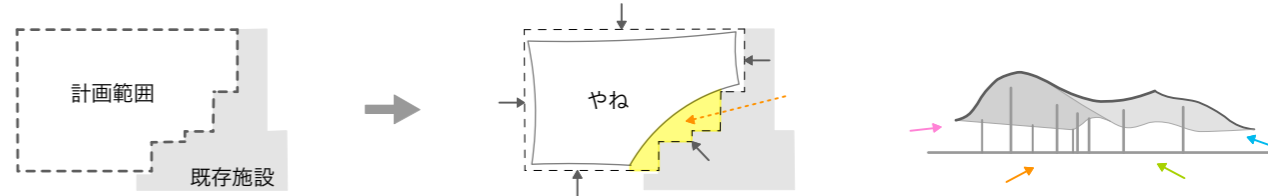


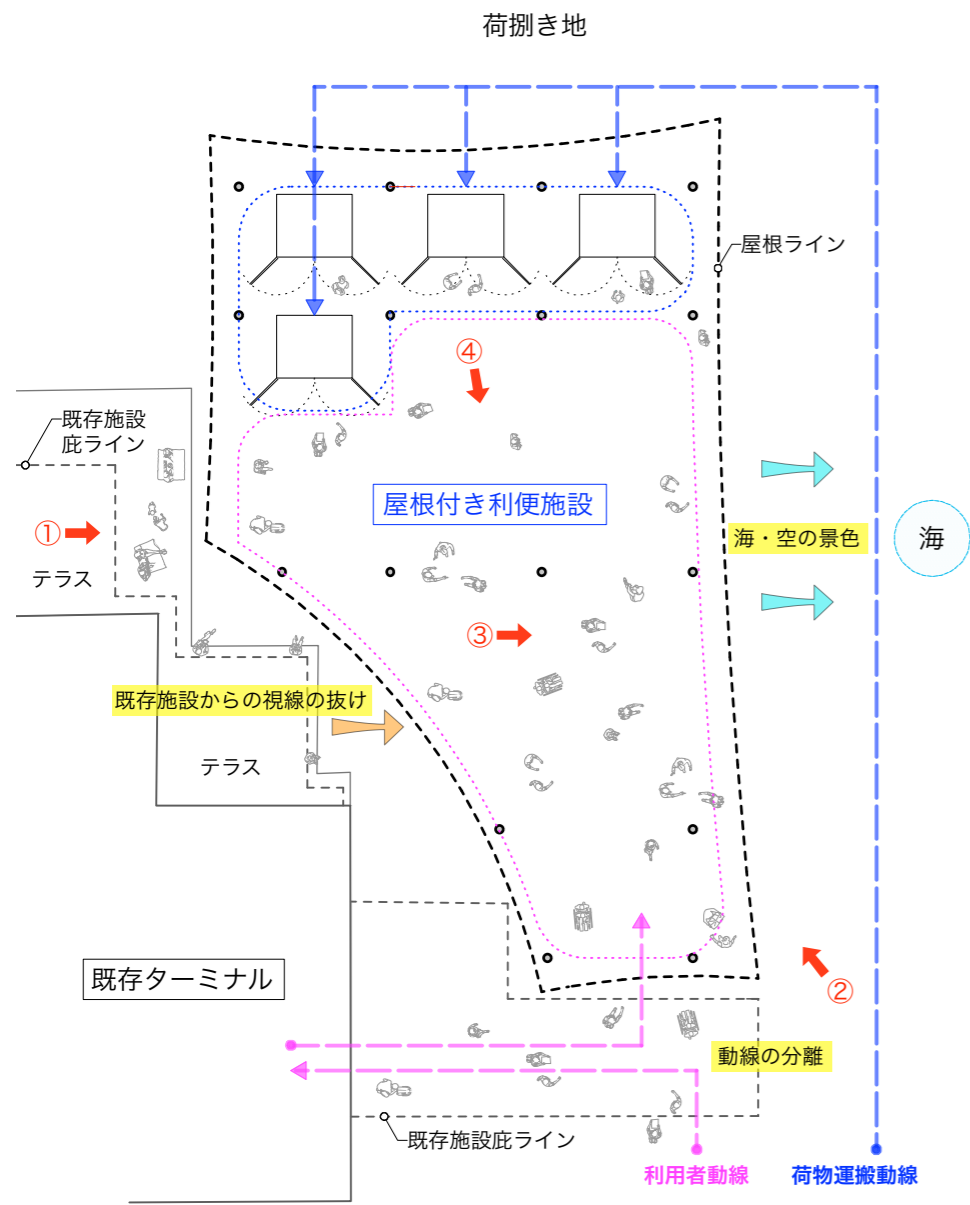
■Diagram

- 屋根下の空間ボリューム
 - ・フォークリフト作業可能高さGL +3700mmのラインを確保します。
 - ・ゆるやかな屋根の曲線で周辺環境を取り込み、荷捌きと待機スペースの空間を柔らかく分離します。



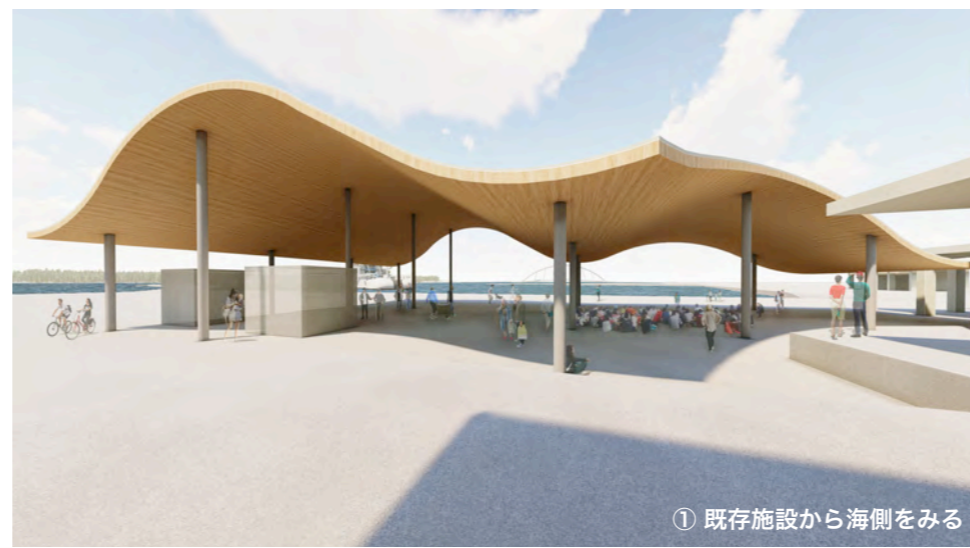
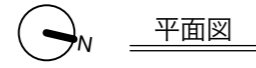
- 屋根形状の考え方
 - ・屋根をセットバックさせることで、豊かな自然光が既存施設にもこもれる計画とします。
 - ・やさらかな輪郭にぎりとのことで、周辺環境に馴染むだけでなく見る角度によって様々な表情をみせてくれます。



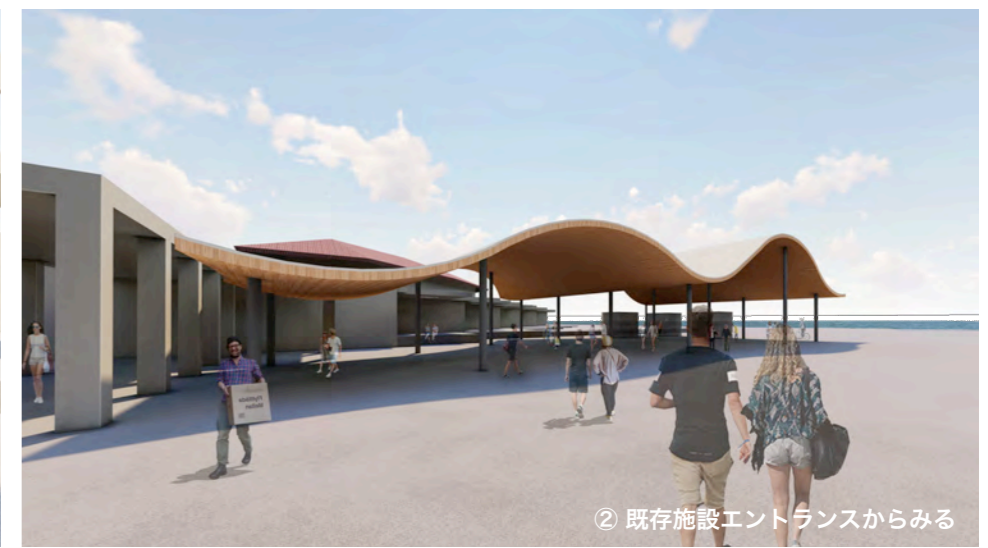


■建築物概要書

- ・建築物水平投影面積：540㎡
- ・構造：鉄骨造+木造屋根
- ・柱、梁：鉄骨溶融亜鉛めっき仕上げの上耐候性塗料
- ・屋根：CLT(直交集成板)の上、ガルバリウム鋼板



① 既存施設から海側をみる



② 既存施設エントランスからみる



③ 屋根下空間から海側をみる



④ 既存施設エントランス側をみる

■断面計画

- ・東西は高さを抑え日射を遮り、北側の開けた景色を取り込む。
- ・既存施設からの視界や、既存施設への採光にも配慮した計画とする。
- ・居場所によって天井高さが変化し、それと同時に切り取られる風景も変化していく。

■計画地でのCLTのメリット

- ・コンクリートと比べ軽量のため、地盤が弱い計画地では基礎にかかる負担を軽減させることができる。
- ・構造材がそのまま仕上げとなり、強風時の仕上げの剥落等が抑えられる。
- ・断熱性能が高い。
- ・養生不要なため、工期短縮を図れる。

